英文解釈 L01 第 17 講 比較する対象と程度をそろえて読む

学習目標

- 比較される対象と、その対象について比べられる性質を確定できる。
- 原級・比較級・最上級が表す程度関係と比較の範囲を読み取り、和訳に反映できる。
- 名詞に修飾語句が付いていても中心となる名詞を見失わず、明示された程度差や否定の意味を保って訳せる。

1. 比較表現では、何と何を比べているのか

解説

英文に比較表現が出てきたとき、形容詞の意味が分かるだけでは、文全体を正確に読めるとは限らない。

例えば、ある英文に longer があれば、「より長い」という程度関係があることは分かる。しかし、それだけでは何が何より長いのかは決まらない。比較する対象が長い名詞句になっていれば、名詞の周りの説明を読み進めるうちに、比べるべき二つのものを見失うことがある。

比較表現を読むときには、次の三つの情報を結び付ける。

- **比較対象**：何と何を比べているのか。
- **比較する性質**：長さ・広さ・明るさなど、何について比べているのか。
- **程度関係**：同じ程度なのか、どちらかが上回るのか、ある集合の中で最も程度が高いのか。

大切なのは、比較対象と性質を別々に見つけて終わらないことである。どの対象が、どの性質について、どのような程度関係にあるのかを一つにつなげて読む。

定義

原級による比較

as … as は、二つの対象について、指定された性質が同じ程度であることを表す。

not as … as は、基本的な比較では、前に置かれた対象が後ろの対象ほど、その性質の程度に達していないことを表す。否定されるのは同じ程度であるという関係であり、その性質がまったく存在しないという意味ではない。

比較級による比較

longer than や wider than などは、前の対象が後ろの対象より、指定された性質の程度で上回ることを表す。

two meters longer than のように差が示されていれば、比較の向きだけでなく、何を基準にどれだけ違うかも読み取る。

最上級による比較

the longest や the brightest などは、指定された集合の中で、その性質の程度が最も高いことを表す。

このときは、何が最上級なのかに加え、どの集合の中で比べているのかを確かめる。

©ミライコーチング

2. 比較対象は名詞の中心へ戻して読む

解説

比較対象には、場所や特徴を説明する語句が付くことがある。

例えば、the wooden chair beside the door という名詞句では、中心となる名詞は chair である。wooden は材質を、beside the door は位置を説明している。

このような名詞句が二つ比較されていたら、まず両方の中心語を取り出し、何と何が比べられているかを確かめる。その後で、それぞれに付く説明を戻せばよい。

比較の両側をそろえる

解説

比較する対象に別々の修飾語句が付いている場合でも、比べられる性質は共通している。

例えば、次の英文を考える。

The basket on the table is as heavy as the basket near the door.

この文では、the basket on the table と the basket near the door が比較されている。どちらも中心となる名詞は basket であり、on the table と near the door はそれぞれのかごを区別する説明である。

比較する性質は heavy が表す「重さ」であり、as heavy as によって、二つのかごの重さが同じ程度であると分かる。

「机の上のかごは、ドアの近くのかごと同じくらい重い」と訳せる。

ここで注目したいのは、**比較表現が二つの対象のすべての特徴を比べているわけではない**という点である。かごの場所は違っていても、比較されているのは重さである。英文中の修飾語句は対象を特定するために使い、heavy が示す比較の基準と混同しない。

英文のまとまりを示すときは、名詞として働く大きなまとまりを〈〉、形容詞として働くまとまりを〔〕、副詞として働くまとまりを ( ) で表す。これらは個々の単語の品詞ではなく、まとまり全体の働きを示す記号である。また、S は主語、V は述語動詞、O は目的語、C は補語、M は修飾語を表し、V の下線は述語動詞の位置を示す。M は文の中での働きを示す記号であり、必ず省略できるという意味ではない。比較表現を読む場合も、名詞のまとまりを捉えてから、二つの対象の関係へ戻る。

〈The basket 〔on 〈the table〉〕〉 is
S V

〔as heavy (as 〈the basket 〔near 〈the door〉〕〉)〕.
C

S “The basket on the table” / 比較される側のかご
C “as heavy as the basket near the door” / 重さの比較 / 二つのかごの重さは同程度。ほかの特徴の一致は示さない。

程度の差を落とさず読む

解説

比較級には、どちらの程度が高いかだけでなく、どれだけ違うかが明示される場合がある。

The orange rope is two meters longer than the green rope.

この英文では、the orange rope と the green rope の長さを比較している。

longer than によって、オレンジ色のロープのほうが長いと分かる。さらに、two meters は長さの差を示している。

したがって、「オレンジ色のロープは、緑色のロープより 2 メートル長い」と読む。

two meters longer は、オレンジ色のロープそのものの長さが 2 メートルだという意味ではない。また、緑色のロープの 2 倍の長さだという意味でもない。**基準となる対象より 2 メートル長い**という差を示している。

比較級の前に数値や単位が置かれていたら、それが比較対象そのものの数量なのか、二つの対象の間の差なのかを、比較表現との結び付きから判断する。

〈The orange rope〉 is 〔(two meters) longer (than 〈the green rope〉)〕.
S V C

S “The orange rope” / オレンジ色のロープ
C “two meters longer than the green rope” / 長さの比較 / オレンジ色のロープが緑色のロープより 2 メートル長い。全長や倍率は不明。

not as ... as は同じ性質の程度を比べる

解説

否定原級では、not が何を否定しているかを確認する必要がある。

次の英文では、2 枚のタオルがどちらも濡れていることが明示されている。

Both towels are wet, but the towel on the chair is not as wet as the towel by the sink.

この文の後半では、the towel on the chair と the towel by the sink を、wet が表す「濡れている程度」で比較している。

not as wet as は、椅子の上のタオルが、流し台のそばのタオルほど濡れていないことを表す。

したがって、全文は次のように訳せる。

「2 枚のタオルはどちらも濡れているが、椅子の上のタオルは流し台のそばのタオルほど濡れていない。」

ここで否定されているのは、二つのタオルが同じ程度に濡れているという関係である。椅子の上のタオルがまったく濡れていないわけではない。実際、前半で両方が濡れていると明示されている。

また、単に「2 枚のタオルは違う」と訳すだけでは、何についての違いなのかが失われる。wet という共通の性質について、前の対象が後ろの対象ほどの程度に達していないことを保って訳す。

〈Both towels〉 are wet , but 〈the towel 〔on 〈the chair〉〕〉 is
S V C S V

〔not as wet (as 〈the towel 〔by 〈the sink〉〕〉)〕.
C

S “Both towels” / 両方のタオル
C “wet” / 両方とも濡れている
S “the towel on the chair” / 椅子の上のタオル
C “not as wet as the towel by the sink” / 濡れた程度の比較 / but は両方とも濡れている事実と程度の差を対比する。not は副詞として程度の一致を否定し、椅子の上のタオルの濡れた程度が低いことを示す。

最上級では比較する集合を確かめる

解説

比較級では主に二つの対象の程度を比べる。一方、最上級では、指定された集合の中で、ある対象がどの位置にあるかを読む。

The tree beside the fence is the tallest of the four trees in this garden.

この英文では、the tree beside the fence が、the four trees in this garden という集合の中で最も高いことを表している。

「フェンスのそばの木は、この庭にある 4 本の木の中で最も高い」と訳せる。

beside the fence は比較対象となる木を特定する説明であり、of the four trees in this garden は比較の範囲を示す。二つの働きを区別すると、最上級の意味を正確に捉えられる。

最上級を訳す際には、**「最も〜」だけで終わらせず、「何の中で最も〜なのか」まで読む**ことが重要である。この文から、庭の外にある木との高さの関係までは決められない。また、最上級だけを根拠に、同じ高さの木が絶対に存在しないと付け加える必要もない。

〈The tree 〔beside 〈the fence〉〕〉 is
S V

〔the tallest (of 〈the four trees 〔in 〈this garden〉〕〉)〕.
C

S “The tree beside the fence” / フェンスのそばの木
C “the tallest of the four trees in this garden” / 4 本の中で最も高い / of 以下は tallest の比較集合を示すため、副詞機能の群として扱う。庭の外との比較や同率の有無は示さない。

比較関係を一度に確かめる

表現	対象と性質	読み取れる程度関係
as heavy as	机の上のかごとドア近くのかごの重さ	二つのかごは同じくらい重い。
two meters longer than	オレンジ色と緑色のロープの長さ	オレンジ色のロープが 2 メートル長い。
not as wet as	椅子の上と流し台そばのタオルの濡れた程度	両方とも濡れているが、椅子の上のタオルは流し台そばのタオルほど濡れていない。
the tallest	フェンスそばの木と庭の 4 本の木の高さ	フェンスそばの木が、庭の 4 本の中で最も高い。

3. 例題

1

英文

The wooden bridge across the stream is four meters longer than the stone bridge in the park.

語注

- wooden：木製の
- stream：小川
- stone：石製の、石造りの

a. 構造確認

four meters longer than が表す比較関係を示せ。修飾語句を含む二つの比較対象、比較する性質、明示された程度差を一組の関係として答えよ。

b. 全文和訳

英文全体を自然な日本語に訳せ。

解説

例題 1 の解答・解説

a. 比較関係

比較されている対象は、the wooden bridge across the stream と the stone bridge in the park である。

両方とも中心となる名詞は bridge であり、それぞれの材質や場所を示す説明によって区別されている。

比較する性質は橋の「長さ」である。four meters longer than により、小川に架かる木造の橋が、公園にある石造りの橋より 4 メートル長いことを表している。

b. 全文和訳

直訳

小川に架かる木製の橋は、公園にある石製の橋より 4 メートル長い。

満点の訳

小川に架かる木造の橋は、公園内にある石造りの橋よりも 4 メートル長い。

解説

まず、文の中心を捉える。

主語 S は The wooden bridge across the stream、動詞 V は is である。four meters longer than the stone bridge in the park は、主語である橋について、その長さを比較して述べる補語 C のまとまりとして捉えられる。

主語の内部では、wooden が材質を示し、across the stream が橋の位置を説明している。比較対象のもう一方も、stone と in the park によって特定される。

このように修飾語句を取り除いて中心語を見ると、比較されているのは二つの bridge であると分かる。longer が示す性質は長さであり、than の後ろに比較の基準となる橋が置かれている。

さらに、four meters は longer の程度を具体的に示しているため、「4 メートル」という差を必ず訳に反映する。「4 メートルの橋」と訳したり、「4 倍長い」としたりすると、原文とは異なる数量関係になる。

橋の材質や位置は比較対象を区別する情報であり、実際に比べている性質は長さである。この二つを分けてから結び直すと、修飾語句が付いた比較文でも意味関係を保ちやすくなる。

〈The wooden bridge 〔across 〈the stream〉〕〉 is
S　V

〔(four meters) longer (than 〈the stone bridge 〔in 〈the park〉〕〉)〕.
C

S “The wooden bridge across the stream” / 小川に架かる木造の橋
C “four meters longer than the stone bridge in the park” / 橋の長さの比較 / 木造の橋が石造りの橋より 4 メートル長い。橋の全長や倍率は示さない。

2

英文

The kite shaped like a fish is the largest of the six kites displayed at the festival.

語注

- kite：凧
- shaped like …：〜の形をした
- display：展示する
- festival：祭り、催し

a. 構造確認

the largest of the six kites displayed at the festival が表す最上級の関係を示せ。最上級で述べられる対象、比較する性質、比較の範囲を一組の関係として答えよ。

b. 全文和訳

英文全体を自然な日本語に訳せ。

解説

例題 2 の解答・解説

a. 最上級の関係

最上級で述べられている対象は、The kite shaped like a fish（魚の形をした凧）である。

比較する性質は凧の「大きさ」であり、比較の範囲は the six kites displayed at the festival（祭りで展示されている 6 つの凧）である。

この 6 つの凧の中で、魚の形をした凧が最も大きいことを表している。

b. 全文和訳

直訳

魚の形をした凧は、祭りで展示されている 6 つの凧の中で最も大きい。

満点の訳

祭りで展示されている 6 つの凧のうち、魚の形をした凧が最も大きい。

解説

文の主語 S は The kite shaped like a fish、動詞 V は is である。the largest of the six kites displayed at the festival は、主語の凧について大きさを述べる補語 C として捉えられる。

ここでは、名詞に付く二つの修飾関係が重要になる。

shaped like a fish は、直前の kite を説明している。主語全体は「魚の形をした凧」という一つの名詞のまとまりであり、shaped を文全体の述語動詞として扱うわけではない。

一方、displayed at the festival は the six kites を説明している。このまとまりは「祭りで展示されている 6 つの凧」を表し、最上級の比較範囲を具体的に示す。

the largest の largest が示すのは、大きさという性質の程度である。続く of the six kites displayed at the festival によって、何の中で最も大きいのかが定まる。

したがって、魚の形をした凧が、祭りで展示されている 6 つの凧の中で最も大きいと読む。この英文から、祭りで展示されていない凧も含めて最も大きいとは判断できない。

満点の訳では、比較範囲を先に示してから対象を述べている。英語の語順を日本語で組み替えても、6 つという数量、展示されている場所、比較される対象、最上級の関係が保持されていればよい。

〈The kite 〔shaped (like 〈a fish〉)〕〉 is
S V

〔the largest (of 〈the six kites 〔displayed (at 〈the festival〉)〕〉)〕.
C

S “The kite shaped like a fish” / 魚の形をした凧
V “is” / 時制を持つ述語動詞。shaped や displayed とは区別する。
C “the largest of the six kites displayed at the festival” / 6 つの凧の中で最も大きい / 比較範囲は祭りで展示されている 6 つの凧。同じ大きさの凧の有無は示さない。

4. 演習問題

1

英文

The instructions on the blue card are as clear as the instructions on the yellow card.

語注

・instruction：指示、説明書き

a. 構造確認

as clear as が表す比較関係を示せ。比較される二つの対象と、その対象について比べられる性質・程度の関係を一組として答えよ。

b. 全文和訳

英文全体を自然な日本語に訳せ。

2

英文

Both passages are difficult, but the passage about ocean animals is not as difficult as the passage about mountain plants.

語注

・passage：文章、文章の一節
・ocean：海洋、大洋

a. 構造確認

not as difficult as が表す比較関係を示せ。比較される二つの対象と、否定によって示される程度の関係を一組として答えよ。

b. 全文和訳

英文全体を自然な日本語に訳せ。

©ミライコーチング

3

英文

This morning, the water in the indoor pool was three degrees Celsius warmer than the water in the outdoor pool.

語注

- indoor：屋内の
- outdoor：屋外の
- degree Celsius：摂氏 1 度（温度差の場合も用いる）

a. 構造確認

three degrees Celsius warmer than が表す比較関係を示せ。比較される二つの対象、比較する性質、程度差とその向きを一組として答えよ。

b. 全文和訳

英文全体を自然な日本語に訳せ。

4

英文

The questions asked during the morning interview were more specific than the questions asked during the afternoon interview.

語注

- interview：面接、インタビュー
- specific：具体的な、明確に絞られた

a. 構造確認

more specific than が表す比較関係を示せ。比較される二つの対象と、どちらがどの性質について上回るのかを一組として答えよ。

b. 全文和訳

英文全体を自然な日本語に訳せ。

©ミライコーチング

5

英文

Of the six routes marked on the hiking map, the route along the river is the safest for beginners.

語注

- route：経路、道順
- mark：印を付ける、示す
- hiking：ハイキング
- beginner：初心者

a. 構造確認

the safest が表す最上級の関係を示せ。最上級で述べられている対象、比較する性質、比較の範囲を一組として答えよ。

b. 全文和訳

英文全体を自然な日本語に訳せ。

6

英文

Among the six short films shown at the community center last Sunday, the film about sea turtles was the most popular with adults.

語注

- short film：短編映画
- community center：地域センター
- sea turtle：ウミガメ
- popular with ...：〜に人気がある

a. 構造確認

the most popular が表す最上級の関係を示せ。最上級で述べられている対象、比較する性質、比較の範囲を一組として答えよ。

b. 全文和訳

英文全体を自然な日本語に訳せ。

©ミライコーチング

演習問題の解答・解説

1

a. 比較関係

比較されている対象は、the instructions on the blue card（青いカードに書かれた説明）と the instructions on the yellow card（黄色いカードに書かれた説明）である。

比較する性質は、説明の「分かりやすさ・明確さ」である。

as clear as によって、青いカードの説明が黄色いカードの説明と同じくらい明確であることを表している。

b. 全文和訳

直訳

青いカードにある説明書きは、黄色いカードにある説明書きと同じくらい明確である。

満点の訳

青いカードに書かれた説明は、黄色いカードの説明と同じくらい分かりやすい。

解説

主語 S は The instructions on the blue card、動詞 V は are である。as clear as the instructions on the yellow card は、主語の説明について明確さの程度を述べる補語 C として捉えられる。

二つの比較対象は、どちらも instructions が中心となる名詞のまとまりである。on the blue card と on the yellow card は、それぞれの説明がどのカードにあるかを示している。

as clear as では、clear が比較する性質を示し、二つの対象がその性質について同じ程度であると読む。

したがって、青いカードと黄色いカードそのものが同じという意味ではない。また、両方の説明が完全に明確であるとまで断定する表現でもない。英文が述べているのは、二つの説明の明確さが同じ程度だという関係である。

「明確である」を「分かりやすい」と整えても、説明同士の程度関係が保たれていればよい。

〈The instructions 〔on 〈the blue card〉〕〉 are
S V

〔as clear (as 〈the instructions 〔on 〈the yellow card〉〕〉)〕.
C

S “The instructions on the blue card” / 青いカードの説明
C “as clear as the instructions on the yellow card” / 説明の明確さを比較 / 二つの説明の明確さは同程度。カード自体の一致を表すものではない。

2

a. 比較関係

比較されている対象は、the passage about ocean animals（海の動物についての文章）と the passage about mountain plants（山の植物についての文章）である。

比較する性質は、文章の「難しさ」である。

not as difficult as によって、海の動物についての文章は、山の植物についての文章ほど難しくないことを表している。

b. 全文和訳

直訳

両方の文章は難しいが、海の動物についての文章は、山の植物についての文章ほど難しくない。

満点の訳

どちらの文章も難しいが、海の動物について書かれた文章は、山の植物について書かれた文章ほど難しくはない。

解説

英文は but によって二つの内容が結ばれている。

前半の Both passages are difficult では、二つの文章がどちらも難しいと述べている。後半では、その二つの文章の難しさに差があることを説明している。

後半の主語 S は the passage about ocean animals、動詞 V は is である。not as difficult as the passage about mountain plants は、主語の文章について難しさの程度を否定原級で表している。

ここでの not は、二つの文章の難しさが同じ程度であるという関係を否定している。

したがって、海の動物についての文章は、山の植物についての文章より難しさの程度が低い。

一方、前半には Both passages are difficult とあるため、海の動物についての文章も難しいことが明示されている。

「海の動物についての文章は簡単だ」と訳してしまうと、原文にない評価へ変わってしまう。「難しいが、もう一方の文章ほどではない」という意味を保つ必要がある。

また、「二つの文章は同じではない」という訳では、difficult が示す難しさの程度関係を表せない。否定された性質そのものではなく、その性質についての程度の一致が否定されていることを確認する。

〈Both passages〉(S) are (V) difficult (C), but 〈the passage 〔about 〈ocean animals〉〕〉(S) is (V) 〔not as difficult (as 〈the passage 〔about 〈mountain plants〉〕〉)(C)〕.

S “Both passages” / 両方の文章
C “difficult” / どちらも難しい
S “the passage about ocean animals” / 海の動物についての文章
C “not as difficult as the passage about mountain plants” / 難しさの程度を比較 / but は両方とも難しい事実と程度の差を対比する。not は副詞として程度の一致を否定する。海の動物についての文章も難しいが、比較基準ほどではない。

3

a. 比較関係

比較されている対象は、the water in the indoor pool（屋内プールの水）と the water in the outdoor pool（屋外プールの水）である。

比較する性質は、水の「温度」である。

three degrees Celsius warmer than によって、今朝の屋内プールの水温が、屋外プールの水温より摂氏 3 度高かったことを表している。

b. 全文和訳

直訳

今朝、屋内プールの水は、屋外プールの水より摂氏 3 度温かかった。

満点の訳

今朝、屋内プールの水温は、屋外プールの水温よりも摂氏 3 度高かった。

解説

This morning は、文全体の比較がいつの状態について述べられているかを示す副詞句である。

主語 S は the water in the indoor pool、動詞 V は was である。three degrees Celsius warmer than the water in the outdoor pool は、主語の水について温度を比較して述べる補語 C のまとまりである。

二つの名詞句は、どちらも water を中心としている。in the indoor pool と in the outdoor pool が、それぞれの水の場所を説明している。

warmer than は屋内プールの水のほうが温かいことを示す。その前にある three degrees Celsius は、比較する二つの水温の差を表している。

このため、屋内プールの水温が摂氏 3 度であったという意味にはならない。また、屋外プールの水温を具体的に何度と決めることもできない。

満点の訳では、英語の the water … was warmer を日本語として自然な「水温は〜高かった」に整えている。主語の表現を組み替えても、水温の比較対象と摂氏 3 度の差を正しく保つことが重要である。

動詞が過去形の was であり、This morning と明示されているため、訳でも今朝の過去の状態として表す。

(This morning) , 〈the water 〔in 〈the indoor pool〉 〕〉 was
M　S　V

〔(three degrees Celsius) warmer (than 〈the water 〔in 〈the outdoor pool〉 〕〉)〕.
C

M “This morning” / 今朝という時点
S “the water in the indoor pool” / 屋内プールの水
C “three degrees Celsius warmer than the water in the outdoor pool” / 水温の比較 / 今朝、屋内プールの水温が屋外プールの水温より摂氏 3 度高かった。水温そのものの数値や倍率は示さない。

4

a. 比較関係

比較されている対象は、The questions asked during the morning interview（午前の面接で尋ねられた質問）と the questions asked during the afternoon interview（午後の面接で尋ねられた質問）である。

比較する性質は、質問の「具体性」である。

more specific than によって、午前の面接で尋ねられた質問のほうが、午後の面接で尋ねられた質問より具体的であったことを表している。

b. 全文和訳

直訳

午前の面接中に尋ねられた質問は、午後の面接中に尋ねられた質問より具体的であった。

満点の訳

午前の面接で出された質問は、午後の面接で出された質問よりも具体的だった。

解説

主語 S は The questions asked during the morning interview、動詞 V は were である。more specific than the questions asked during the afternoon interview は、主語の質問について具体性の程度を比較して述べる補語 C である。

ここでは、比較対象の名詞に付く修飾語句を正確に捉える必要がある。

asked during the morning interview は、直前の questions を説明する過去分詞のまとまりである。同様に、asked during the afternoon interview も、後ろ側の比較対象である questions を説明している。

したがって、二つの比較対象の中心となる名詞は、どちらも questions である。

more specific than の specific は、質問の具体性という性質を表している。午前と午後という時間帯の違いは、質問がどちらの面接で出されたものかを区別する情報である。

英文が比較しているのは、午前と午後の長さでも、面接の実施時間でもない。午前の質問と午後の質問の具体性である。

また、more specific は比較の方向を示すが、具体性がどれだけ違うかという数値までは示していない。そのため、訳に具体的な差を付け加えることはできない。

過去形の were も保持し、過去の二つの面接で出された質問を比較する文として訳す。

〈The questions 〔asked (during 〈the morning interview〉)〕〉 were
S V
〔more specific (than 〈the questions 〔asked (during 〈the afternoon
C
interview〉)〕〉)〕.
C

S “The questions asked during the morning interview” / 午前の面接で尋ねられた質問
C “more specific than the questions asked during the afternoon interview” / 質問の具体性を比較 / 午前の質問のほうが午後の質問より具体的だった。具体性の差は数値で示されていない。

5

a. 最上級の関係

最上級で述べられている対象は、the route along the river（川沿いの経路）である。

比較する性質は、初心者にとっての「安全性」である。

比較の範囲は、the six routes marked on the hiking map（ハイキング用の地図に示された 6 つの経路）である。

この 6 つの経路の中で、川沿いの経路が初心者にとって最も安全であることを表している。

b. 全文和訳

直訳

ハイキング用の地図に示された 6 つの経路の中で、川に沿った経路が初心者にとって最も安全である。

満点の訳

ハイキング用の地図に載っている 6 つのルートのうち、初心者にとって最も安全なのは川沿いのルートである。

解説

文頭の Of the six routes marked on the hiking map は、最上級の比較範囲を示している。

主語 S は the route along the river、動詞 V は is である。the safest は、主語の経路について安全性を述べる補語 C の中心となる表現である。

まず、the six routes marked on the hiking map では、中心となる名詞は routes である。

marked on the hiking map は、この 6 つの経路がどのような経路なのかを説明している。地図に示された 6 つという集合が、比較の範囲になる。

一方、the route along the river では、along the river が route を説明している。

the safest は、その 6 つの経路の中で、安全性の程度が最も高いことを表す。さらに、for beginners によって、誰にとっての安全性なのかが明示されている。

したがって、「初心者にとって最も安全」という意味を保つ必要がある。単に「最も安全なルート」と訳すだけでは、原文で指定された対象者が落ちてしまう。

また、比較範囲は地図に示された 6 つの経路であり、すべてのハイキングコースを含むわけではない。最上級であっても、指定された集合の外にまで比較を広げないことが重要である。

(Of 〈the six routes 〔marked (on 〈the hiking map〉)〕〉) (M),

〈the route 〔along 〈the river〉〕〉 (S) is (V) 〔the safest (for 〈beginners〉)〕 (C).

M “Of the six routes marked on the hiking map” / 比較する 6 つの経路 / 地図に示された 6 つの経路を比較範囲とする。
S “the route along the river” / 川沿いの経路
C “the safest for beginners” / 初心者にとって最も安全 / safest は安全性の最上級。for beginners はその対象者を示す。比較範囲の外には一般化しない。

6

a. 最上級の関係

最上級で述べられている対象は、the film about sea turtles（ウミガメについての映画）である。

比較する性質は、大人からの「人気の高さ」である。

比較の範囲は、the six short films shown at the community center last Sunday（先週の日曜日に地域センターで上映された 6 本の短編映画）である。

この 6 本の短編映画の中で、ウミガメについての映画が大人に最も人気があったことを表している。

b. 全文和訳

直訳

先週の日曜日に地域センターで上映された 6 本の短編映画の中で、ウミガメについての映画が大人に最も人気があった。

満点の訳

先週の日曜日、地域センターで上映された 6 本の短編映画のうち、大人に最も人気があったのはウミガメを扱った作品だった。

解説

文頭の Among the six short films shown at the community center last Sunday が、最上級の比較範囲を示している。

Among の後ろに続く名詞のまとまりでは、films が中心となる名詞である。short は映画の種類を示し、shown at the community center last Sunday は、その 6 本がいつ、どこで上映された映画なのかを説明している。

主節に戻ると、主語 S は the film about sea turtles、動詞 V は was である。the most popular with adults は、主語の映画について人気の高さを述べる補語 C のまとまりである。

the most popular が最上級の性質を示し、with adults によって、人気を判断する対象が大人であると分かる。

ここでは、映画の長さや内容の難しさを比較しているわけではない。また、すべての観客に最も人気があったと述べているわけでもない。

比較する集合は先週の日曜日に地域センターで上映された 6 本の短編映画であり、比較する性質は大人からの人気である。

the most popular は、この集合の中で人気の程度が最も高かったことを示すが、他の作品との差や実際の観客数までは示していない。同じ程度の人気を得た作品が絶対に存在しなかったとも断定しない。

満点の訳では、「映画」を「作品」と言い換え、最上級の対象を文末へ置いている。日本語の語順を変えても、6 本という数量、上映された場所と時点、大人という人気の対象、最上級の関係が正しく保たれていればよい。

(Among 〈the six short films 〔shown (at 〈the community center〉) (last Sunday)〕〉) ,
M

〈the film 〔about 〈sea turtles〉〕〉 was 〔the most popular (with 〈adults〉)〕.
S V C

M “Among the six short films shown at the community center last Sunday” / 比較する 6 本の短編映画 / 先週の日曜日に地域センターで上映された 6 本を比較範囲とする。
S “the film about sea turtles” / ウミガメについての映画
C “the most popular with adults” / 大人に最も人気があった / most popular は人気の高さの最上級。with adults は人気を判断する対象者を示す。人気の差や同率の有無は示さない。